

# 市政に関する一般質問通告一覧

平成26年第4回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

| 日       | 時         | 質 問 議 員   |
|---------|-----------|-----------|
| 9月2日(火) | 午前11時00分～ | 1. 山内 悟   |
|         | 午後1時00分～  | 2. 山本 半治  |
|         |           | 3. 成田 吉毅  |
|         |           | 4. 松本 如美  |
| 9月3日(水) | 午前9時30分～  | 5. 久世 孝宏  |
|         |           | 6. 中村 宗雄  |
|         | 午後1時00分～  | 7. 竹内 功治  |
|         |           | 8. 岩田 玲子  |
|         |           | 9. 小栗 佳仁  |
| 9月4日(木) | 午前9時30分～  | 10. 山田 清一 |
|         |           | 11. 中川 健一 |

## 9月2日(火) 午前11時00分～

### 1. 16番議員 山内 悟 (日本共産党) 【一問一答】

#### 1. ごみの減量と半田市クリーンセンターの将来について

##### (1) 半田市のごみの現状と減量対策について

①家庭系、事業系ごみの減量はどうか。再利用率、リサイクル率の推移、中間処理による集団回収を除いた排出量の何%が減量化されているか。ごみ排出量の何%が最終処分されているか

②「循環型社会形成推進地域計画」による目標に対して半田市は達成したのか。した場合としなかった場合とその原因と対策をどう考えているか

#### 2. 就学援助制度の拡充を求める

##### (1) 「子どもの貧困化」が進み、子どもの6人に一人が就学援助となっている

①半田市での、就学援助の受給者数、受給割合などの推移と現状はどうか

##### (2) 「貧困の連鎖」を断つために、就学援助の対象の拡大を図るべきではないか

①就学援助対象の拡大を図るべきではないか

②就学援助の認定対象基準の拡大をすべきではないか

③生活保護基準の1.4倍に戻すべきではないか

④就学援助の抜本的な充実を図るべきではないか

**9月2日（火）午後1時00分～**

**2. 20番議員 山本半治（公明党） 【一問一答】**

**1 胃がん予防の推進について**

**(1) 平成25年6月一般質問の答弁からピロリ菌の除菌について**

- ①ピロリ菌除菌の周知とPRにどの様に努めてきたか
- ②ピロリ菌検査の導入をどの様に検討してきたか
- ③ピロリ菌検査を医師会は、どの様に捉えているか

**(2) 胃がん検診受診率アップについて**

- ①胃がんリスクABC検査導入で受診率アップ
- ②特定健診と同時受診で受診率アップ

**(3) 若年者のピロリ菌除菌について**

- ①中学生対象のピロリ菌検査導入について

**2 矢勝川の環境対策について**

**(1) 水質悪化対策について**

- ①BOD（生物化学的酸素要求量）の悪化理由について
- ②水質改善の対策について

**3. 5番議員 成田吉毅（至誠会） 【一問一答】**

**1 平成27年度の固定資産税の評価替えに係る、本市の現在と今後の取組みについて**

**(1) 宅地の評価に当たり、その基準について**

- ①基準宅地はどこに所在し、その価格は平成26年度現在ではいくらか。そして27年度はどうなりますか
- ②標準宅地は、商業地区、住宅地区、工業地区などの用途地区ごとに、市内に何地点ありますか
- ③標準宅地の鑑定評価は、賦課期日前年の26年1月1日で鑑定依頼しその結果に基づき路線価付設を行うと思うが、現在の進捗状況はどうなっていますか

**(2) 税負担の公平性の観点から、個々の宅地相互間で、評価の均衡がとれているか**

- ①路線価はどのように付設していますか。バランスよく付設されていますか
- ②画地計算するに当たり、評価員または評価補助員は現地を確認して評価していますか
- ③道路より低い低地、道路より高く崖地になっている宅地、また画地の形状が袋地など不整形な宅地については、どのような基準で評価していますか
- ④空き家や廃屋の固定資産税の課税はどうなっていますか
- ⑤既存の在来家屋については、評価替えで評価が上がっても、前年度の価格に据え置くという措置がとられているが、27年度評価替えにおいてもその措置は取られますか
- ⑥評価額に不服のある納税者は、市固定資産評価審査委員会の申出することとなるが、今まで基準年度に審査の申出された事案はありますか。あれば、平成21年度と24年度の2基準年度にそれぞれ何件ありましたか。また主な不服理由は何ですか

**(3) 超高齢時代に突入した今、高齢年金生活者にとって衣食住のうち、生活必需の土地と家屋の「住」にかかる税金について**

- ①高齢年金生活者は、現状の年金確保に不安を感じている一方で、固定資産税等の納税

- に不安と困難さが懸念されますが、実際に高齢年金生活者の滞納はありましたか
- ②今後、固定資産税等の滞納が増えると予想される中、半田市独自の対応は難しいと思うが、高齢年金生活者の不安を解消し、安定的な生活を確保するための徴収猶予などの方策について、検討・研究はなされていますか

4. 17番議員 松本如美 (日本共産党) 【一問一答】

- 1 市民課窓口業務の民間委託を問う
  - (1) 窓口業務委託の事業設計について
    - ①プロポーザル選定に何社が応募したか
    - ②手数料引き上げでの事業設計について
    - ③業務委託の範囲・公務の責任について
  - (2) コンビニ交付について
    - ①コンビニ交付に、個人番号カードを使用することについて
    - ②平成32年度までにコンビニ交付率を20%達成見込みについて
- 2 介護保険サービスの維持・充実を求める
  - (1) 介護給付から要支援者をしめ出すことについて
    - ①制度見直しに対する半田市の見解は
    - ②2017年(平成29年)までに「新しい総合事業」を実施することについて
  - (2) 利用料2割負担の導入について
    - ①利用料2割負担についての所見を求める
  - (3) 「軽度者」の特別養護老人ホームからのしめ出しについて
    - ①市内における特養ホーム入所待機者の状況について
    - ②補足給付の見直しについて
  - (4) 改善の取組みについて
    - ①現在の介護サービスを量・質ともに維持・充実する市政を求める

**9月3日(水) 午前9時30分～**

5. 18番議員 久世孝宏 (創政会) 【一問一答】

- 1 人口減少社会に対する半田市の取組みについて
  - (1) 半田市の将来人口について
    - ①第6次総合計画終了時である平成32年の半田市の人口は何人と予想しますか
    - ②人口増、とりわけ若い世代の定住のための施策を早急に実施すべきと考えますがどう考えますか
  - (2) 人口増加のための施策と子育て支援について
    - ①半田市の合計特殊出生率は、他市町と比較した場合、高いですか。低いですか
    - ②出生率を高くするための子育て支援策は、今の半田市において実施しやすい分野と考えます。ここに力を注ぐべきと考えますがいかがですか

6. 13番議員 中村宗雄（無所属） 【一問一答】

1 市民目線から見た半田市の観光振興について

(1) 第6次総合計画 前期基本計画にある観光施策と現在の観光施策の差異について

- ①第6次総合計画 前期基本計画の施策内容に「山車文化を紹介する拠点施設の整備を目指します」とありますが、これはいつ具体化されますか
- ②現在進められている「赤レンガ建物の整備」は、第6次総合計画 前期基本計画の施策内容では、一言も触れられていませんが、どの施策内容と合致しているのですか
- ③施策が目指す半田市の将来の姿の中で、観光客入込客数の目標値は平成27年は100万人、計画最終年度の平成32年では110万人、観光振興基本計画では平成33年度に120万人に設定されていますが、「市長まちづくり宣言」の中では平成28年の目標観光客入込客数が120万人となっています。どの数字が本当の観光客入込客数の目標値なのか

(2) 観光拠点として整備される半田赤レンガ建物について

- ①赤レンガ建物のオープンまで約半年となり指定管理者も詳細なオペレーションが決まりつつあると思いますが、半田市として指定管理者に対しどのような指導または要望を行っていますか
- ②半田赤レンガ建物に訪れる観光客数は34万人とされておりますが、そのような状態になったときの赤レンガ建物周辺は、道路交通、観光客の散策などを含め、どのような状態になると想定されていますか
- ③「赤レンガ建物を知多半島のランドマークとなるよう目指す」と言われておりますが、そのためにも各種団体や商業者、地域住民と連携強化を図る必要があると思いますが、半田市としてどのような対応を行っていますか

(3) 半田市の観光振興の長期的展望について

- ①産業観光振興計画の観光の基本方針として、「知多半島のリーダー的存在として、観光客の受け入れ環境整備と分野横断的な取り組みの推進」とあり、よく意味がわかりませんが、具体的に半田市の観光振興に対しどのような長期的展望をお持ちですか
- ②その長期的展望を実現できたときに、半田市民の暮らしや社会環境や文化は、今とどのように変わると想定していますか

9月3日（水）午後1時00分～

7. 1番議員 竹内功治（志民ネット） 【一問一答】

1 再生可能エネルギー（新エネルギー）に関する施策について

(1) 新エネルギー施策特別委員会（平成23年度）の提言等の取組み状況について

- ①新しいエネルギー関連産業の育成について
- ②啓発に関する取組みについて
- ③公共施設における非常時電源の確保について

(2) 再生可能エネルギーの推進に対する考え方について

- ①国のエネルギー施策に対する考え方について

2 思い出が形に残る行政サービスについて

(1) 記念になる証明書の発行について

- ①記念になる婚姻届受理証明書等の発行について
- ②新たに結婚証や誕生証を発行することについて

8. 6番議員 岩田玲子（至誠会） 【一問一答】

1 半田市民の命を守るAEDについて

(1) 半田市民の誰もが使えるAEDの環境について

- ①半田市で、24時間、いつでも誰でもAEDが使える環境について、どのように考えますか
- ②AEDのコンビニ設置をどのように考えますか
- ③WebによるAED使用事前講習についてどのように考えますか

9. 8番議員 小栗佳仁（志民ネット） 【一問一答】

1 小中学生の安全対策について

(1) 平成24年度通学路緊急点検結果の対応について

- ①進捗状況（現状）について
- ②今後の見通しと課題について

(2) 安全教育について

- ①現状の取組みについて
- ②感受性を高める教育について
- ③危険予測学習（KYT）の必要性について

2 学校の暑さ対策について

(1) 夏季における暑さ対策について

- ①現状の暑さ対策について
- ②現状の対策とその効果について
- ③今後の対策について

**9月4日（木）午前9時30分～**

10. 22番議員 山田清一（公明党） 【一問一答】

1 小中学校における教育環境の整備について

(1) 小中学校の空調設備について

- ①学習環境における暑さ対策の現状はどうか
- ②空調設備の設置についての考え方はどうか

(2) 小中学校のICT環境の整備について

- ①ICTを活用した授業の取組み状況とその効果はどのようにとらえているか
- ②ICT機器活用のため教員の研修体制はどうか
- ③新たなタブレット端末機導入の考え方はどうか

11. 11番議員 中川健一（無所属） 【一問一答】

1 半田市議会総務委員会は2013年5月に市長へ5つの人事制度の改革を提案しました。すでに1年4か月が過ぎています

- (1) 提案制度を導入すべきと言う提案について
  - ①現状はどこまで制度設計が進んでいますか
  - ②いつまでに制度を導入出来ますか
- (2) 自主的な研修に対する助成制度を導入すべきと言う提案について
  - ①現状はどこまで制度設計が進んでいますか
  - ②いつまでに制度を導入出来ますか
- (3) 時間外労働の削減と言う提案について
  - ①現状はどこまで制度設計が進んでいますか
  - ②いつまでに制度を導入出来ますか
- (4) 複線型人事制度の検討、と言う提案について
  - ①現状はどこまで制度設計が進んでいますか
  - ②いつまでに制度を導入出来ますか
- (5) コンピテンシーモデルの検討、と言う提案について
  - ①現状はどこまで制度設計が進んでいますか
  - ②いつまでに制度を導入出来ますか

2 2008年作成の半田市人材育成基本方針は問題点が多すぎる欠陥商品なので早急に改定すべき

- (1) 第1章にある求める人材像や第4章の半田市職員の行動指針には、半田市民が主（あるじ）であり、半田市民のために頑張る、と言う観点と記載が欠落している
  - ①半田市職員の行動指針は7項目あります。1. 市職員であることに誇りを持つ、2. 市民とともに取組む姿勢、3. 心身の健康が仕事の源、4. 情熱を持って前向きに仕事に取り組む、5. 自ら考え行動し、付加価値を創造する、6. 失敗を忘れず挑戦する、7. 組織としての成績向上を目指す、です。この中に市民のために頑張る、と言うそもそもの目的が欠落しているのはなぜですか
- (2) 第2章のキャリアビジョンは、あまりにも大雑把過ぎる上、絵に描いた餅だ
  - ①職員一人一人がまず自分のキャリアパス、つまり専門分野や職員としての歩み方を考え、書面化し、出来るだけ人事へ反映させるべきと考えますがどうですか
- (3) 第3章にある職員研修については、全面見直しをすべきだ、向学心を育てる研修制度やカフェテリア研修制度作りへ
  - ①職員研修体系を読むと、入所2年目以降にビジネスマナーの研修があります。普通は入社直後の1年目にやるものだと思いますが、なぜ2年目以降なのか
  - ②自主的な研修に対する助成金制度と資格取得報奨金制度ぐらい作ったらどうですか
  - ③人事課が行っている役職ごとの階層研修だけでは職員の能力アップには不十分のはずです。全庁的に人材育成に取り組むべきで、そのためには各部各課で人材育成計画を作り各部長各課長が部下の人材育成に責任を持って取り組む必要があります。なぜやらないのですか
- (4) 第3章にある人事異動については、数値目標が欠落し、何でもありあり、人事課のやりたい放題の問題のある内容です

- ①入所後 10 年間で、窓口部門、事業部門、管理部門の 3 つの部署をジョブローテーション出来るように制度設計し、明文化すべきと考えますが、いかがでしょうか
- (5) 第 3 章にある人事考課について、記載内容がおかしい
  - ①この章にある次の記載はおかしくないですか。評価にあたっては、結果・成果はもちろんのこと、そのプロセスも重要視します。なぜなら新たな半田市を創造するには「チャレンジ」することが何より重要だからです、とのこと。まちづくりにおいて、新たな半田市を創造することが間違いのことも多々あります
- 3 お金をかけずに出来る市職員のモチベーションアップ策について、職場環境の改善へ
  - (1) 小中学校、幼稚園、保育園、医務局、看護局を除いた全職員の有給休暇取得日数は年平均 6.16 日です。有給休暇取得日数はせめて年間 10 日まで増やすべきだ
    - ①年に 1 回のリフレッシュ休暇を導入してはいかがでしょう。労使協定による有給休暇の計画的付与制度を導入し、年に 1 回、最低 5 日間の連続取得（土日を合わせて 9 日間休暇）を全職員に実施すれば、平均値が 5 日間は増え、職員のやる気も倍増するはず
  - (2) 人事課のお客様は、まずは半田市役所職員です。人事課は自分たちが市職員の役にたっているかと言うこと、顧客満足度を調べなければならない
    - ①これまでに人事制度について、広く顧客である半田市職員より意見を聞いて、その情報を市民と市議会へ公表をしたようなことは無いと聞いています。一度調べるべきと考えますが、いかがでしょうか